

様式 C - 9 【記入例】

平成18年度科学研究費補助金（基盤研究（A））の研究組織変更承認申請書

平成18年 月 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

大学・理学部・教授

〔印〕

平成18年度科学研究費補助金（基盤研究（A））について、下記のとおり研究組織を変更したいのでご承認くださるようお願いいたします。

記

1. 課題番号

1	8	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---	---

2. 研究課題名

に関する研究

3. 交付決定額

	39,000,000円	・・・	+
うち直接経費	30,000,000円	・・・	
間接経費	9,000,000円	・・・	

4. 変更内容

研究代表者の交替

5. 研究組織及び役割分担

(1) 変更後

研 究 組 織		役 割 分 担
代表・分担の区分	機関番号・所属番号・職番号 所属研究機関・部局・職	
研究代表者	1:2:3:4:5 4:0:1 2:1 大学・理学部・助教授	研究計画の総括 実験の実施・データ分析
研究分担者	1:2:3:4:5 4:0:1 2:3 大学・理学部・助手	実験の実施・データ分析
研究分担者	: : : : : : : : : :	

(2) 変更前

研 究 組 織		役 割 分 担
代表・分担の区分	機関番号・所属番号・職番号 所属研究機関・部局・職	
研究代表者	1:2:3:4:5 4:0:1 2:0 大学・理学部・教授	研究計画の総括
研究分担者	1:2:3:4:5 4:0:1 2:1 大学・理学部・助教授	実験の実施・データ分析
研究分担者	1:2:3:4:5 4:0:1 2:3 大学・理学部・助手	実験の実施・データ分析

6. 事実発生（予定）年月日及びその理由 平成18年9月30日付けで研究代表者退職のため（退職後： 株式会社）

7. 研究組織を変更しても研究計画の遂行に支障がない理由

8. 新しく組織に加わる研究者と当該研究課題との関連及び適格性

9. 新しく研究代表者になる研究者の略歴（研究歴を含む。）及び研究成果発表状況

10. 新しく研究代表者になる研究者の了解 有 ・ 無

様式 C - 9 【作成上の注意】

1. この申請書は、交付決定後、研究代表者又は研究分担者を変更（交替、辞退、追加等）しようとする場合に A 4 判（縦長）で作成し、事前に提出すること。

なお、本申請書は、変更前の研究代表者（ただし、研究代表者が欠けた場合には、変更（予定）後の研究代表者）が作成し、所属する研究機関を經由して提出すること。

2. 「研究代表者の交替」については、次のとおり交替を行う場合に本申請書を作成し、提出すること。また、本様式の提出にあたっては、交付申請書の写し（この研究課題が研究組織を変更している場合は、交付申請書及び当該研究組織変更承認申請書の写し）を一部添付すること。

・新規の研究課題

研究計画調書に記載の研究分担者に研究代表者を交替する場合

・継続の研究課題

前年度の実績報告書に記載の研究分担者に研究代表者を交替する場合

3. 「1. 課題番号」欄は、「交付決定一覧」に記載されている課題番号を十分確認のうえ記入すること。「特別研究員奨励費」については、「採用年度・受付番号」を右詰で記入すること。

（例）・平成 16 年度の採用の特別研究員で受付番号が 1 2 3 4 の場合

1161234

・平成 16 年度の採用の外国人特別研究員で受付番号が 0 1 2 3 4 の場合

11601234

注）外国人特別研究員のみ受付番号の一桁目に「0」がつく。

4. 「3. 交付決定額」欄には、当該研究課題の交付決定額を記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。

5. 「5. 研究組織及び役割分担」欄には、研究代表者・研究分担者の氏名（研究者番号）、所属研究機関・部局・職（機関番号・所属番号・職番号）及び役割分担の具体的内容を、変更後、変更前の各研究組織についてそれぞれ記入すること。なお、当欄については、必要に応じて（研究組織の規模に応じて）様式の記入欄を追加しても（様式全体で 2 枚以上の構成になっても）差し支えない。

6. 研究代表者を交替しようとする場合には、従来の研究代表者は、新たに研究代表者となる研究者の了解を得た上で、「10. 新しく研究代表者になる研究者の了解 有・無」欄の「有」に を付すこと。